

主題：キリストのからだの実際

メッセージ 10

祈ることによってシオンに到達する

聖書：マタイ 16:18. 18:19-20. エペソ 1:16-18. 3:14-17 前半. 4:16. コロサイ 1:9. 2:19. 4:12

I. 主の回復はシオン、すなわちキリストのからだの実際を建造して、新エルサレムにおいて究極的に完成することです——エペソ 4:16. 啓 14:1. 21:2：

A. 神のエコノミーの最高峰はキリストのからだの実際です：

1. 神が人と成り人が神となることの結果は一つの有機体、すなわちキリストのからだであり、それは神と人のミングリングの結果です——エペソ 1:22-23。
2. キリスト、最初の神・人は、彼の復活の中で拡大されて、多くの子たちを伴う長子となりました。この拡大は有機体、キリストのからだです——ローマ 1:3-4. 8:14, 29. 12:4-5。
3. 神のエコノミーを遂行することができる主の回復の最高峰は、神が有機的なからだを生み出し、それが彼の有機体となることです——エペソ 1:22-23. 4:16。

B. キリストのからだの実際は神と人の結合とミングリングであり、団体の神・人を生かし出します——4-6, 16, 21, 23-24 節：

1. キリストのからだの実際は、一組の神の贖われた民が神・人キリストと共に、神・人の生活をするということです——ピリピ 1:19-21 前半：
 - a. 主イエスは彼の復活の中で多くの兄弟たちを生み出し、それは彼を長兄として、大きな団体の神・人となりました。この宇宙的な人は、神であるが人であり、人であるが神です——ローマ 8:29. エペソ 2:15。
 - b. わたしたちを再生した後、命を与える霊はわたしたちの中に住み、わたしたちの霊とミングリングされて、わたしたちと共に神・人を生きます——I コリント 15:45 後半. 6:17。
 - c. このような生活は宇宙的な人という結果になり、それは主イエス、すなわち神聖な命によって神・人の生活をする人と全く同じです——エペソ 4:21, 24. I ヨハネ 2:6. 3:1-2. 4:17。
2. キリストのからだの実際は、神と結合され、結ばれ、構成された神・人たちによる生活であり、それは人性と神性の、また神性と人性のミングリングによります——ヨハネ 14:20. 15:4. エペソ 4:4-6, 16, 24. ピリピ 1:21 前半。
3. キリストのからだの実際は、成就された神・人たちによる団体の生活です。彼らは自分の命によってではなく、手順を経た神の命によって生き、神の属性は彼らの美德を通して表現されます——ガラテヤ 2:20。
4. キリストのからだの実際は、キリストの復活の力を通してキリストの死に同形化される団体の生活です——ピリピ 3:10. I コリント 12:12-13. II コリント 4:10-12. ローマ 8:13-14. 12:4-5。
5. このミングリングはこの時代を閉じ、キリストの再来をもたらして勝利者たちと共に王国時代に地を支配します——啓 11:15。

II. 召会生活で、わたしたちは努力して最高峰に、すなわち今日のシオン、キリストのからだの実際に到達する必要があります——I コリント 1:2. 12:13, 27. エペソ 1:22-23：

- A. 「祈りによる以外に、この高嶺に到達する道はありません」（混ざり合いに関する実行的な要点）。
- B. 「わたしたちは必ず真剣になって、どんな代価を払っても祈る必要があります」。

- Ⅲ. シオンの高嶺に到達するためには、神のエコノミーを遂行するための祈りの意義を知る必要があります—— I テモテ 1:4, 2:8 :
- A. 祈りは人と神の相互の接触です—— I ヨハネ 5:14-15。
 - B. 祈りは人が神を呼吸し、神を獲得し、神によって獲得されることです。真の祈りは、神の御前で吐き出し吸い込んで、わたしたちと神を互いに接触させ、互いに得させることです—— I テサロニケ 5:17。
 - C. わたしたちは祈れば祈るほど、ますます三一の神で満たされます——エペソ 3:14-19。
 - D. 祈りの真の意義は、霊の中で神と接触し、神ご自身を吸収することです—— 6:18. ユダ 20 節。
 - E. 祈りは人が神と協力し共に働いて、神に人を通してご自身を表現していただき、こうして彼の定められた御旨を完成していただくことです——ヤコブ 5:17。
 - F. 祈る人は神と協力し、神と共に働き、神にご自身とご自身の願いを、彼の内側から、彼を通して表現していただきます——ローマ 8:26-27, ヤコブ 5:17, エペソ 1:16-23, 3:14-21。
 - G. わたしたちが持つ祈りは、わたしたちという人にかかっています。わたしたちの祈りは、わたしたちがだれであり、何であり、どこにいるかを啓示します——ルカ 9:54-55, I テモテ 2:8。
 - H. わたしたちの祈りの支配する原則は、その祈りがわたしたちを神の中にもたらすことであるべきです——ルカ 11:1-13。
 - I. 真の祈りの生活は、わたしたちの天然の存在をストップします。そのような祈りの生活は、わたしたちの天然の存在に反乱し反逆します——マタイ 16:24, ルカ 21:36。
 - J. 祈りは真に自己を否むことです。祈ることは自分を否むことであり、わたしたちが無であり何もできないのを認識することです——マルコ 8:34, 9:29。
 - K. 真の祈りはわたしたちを神とミングリングさせます——ユダ 20 節, エペソ 6:18。
 - L. わたしたちはキリストの祈りをもって、霊の中で祈る必要があります。エゼキエル第 1 章 16 節にある車輪の中の車輪のように、わたしたちの祈りの中に祈りがなければなりません——ヤコブ 5:17。
 - M. 真の祈りは霊的であるだけでなく、神聖でもあります。なぜなら三一の神はわたしたちの中で祈っており、わたしたちは三一の神の中で祈っているからです——ローマ 8:26-27, ユダ 20 節。
 - N. 主の御名を呼び求めることによって絶えず祈ることは、キリストを生きることです—— I テサロニケ 5:17, ローマ 10:12-13, ピリピ 1:21 前半。
 - O. 内住のキリストを経験し、キリストで構成される道は、真実な方法で祈ることです——コロサイ 1:3, 9, 27, 4:2-3, 12。
 - P. わたしたちが祈るとき、キリスト、かしらは彼のからだを通して彼の行政を完成する道を持ちます—— 1:18, 2:19, 3:1-2, 4:2, ヘブル 2:17, 4:14, 7:26, 8:1-2, 啓 5:6。
 - Q. 真実な祈りの中で、わたしたちは一人の新しい人の実際に触れます——コロサイ 1:9, 3:10-11。
 - R. バイタルグループで召会を建造する神の定められた道の有機的な実行は、徹底的な祈りによってのみ完成されることができません——マタイ 16:18, 18:19-20。
 - S. バイタルグループの中で共にブレンディングされて同じ心・思いとなり、団体の穀物のささげ物となるためには、多くの徹底的な祈りによってわたしたちの霊を活用する必要があります—— I コリント 12:24, 10:17, レビ 2:1-13, 使徒 1:14, 2:42。

おお何という奇跡、奥義

- 1 おお何という奇せき、おく義！　　かみとひとが混ざり合う！
かみがひとと成るは、　　ひとがかみとなるため；
天使も世びとも知らぬことよ、　はかり知れないかみのエコノミー、
さい高のもくてき、　　かみ・ひとの混ざり合い。
- 2 受にくしたかみ・ひとは、　　わたしをかみとならせる；
いのち、性しつおなじ、　　唯いつしんかくはなし；
しんせいなとくしつはいまや、　わたしのとくとしてあらわれる；
えい光のみかたち、　　かみは表げんされる。
- 3 わたしは単どくでなく、　　いま、かみとともに生きる；
かみときょうりょくして、　　宇宙のいえを建造する；
キリストの有機てきなからだ、　団たいのおおきなうつわとなり、
さんいちのかみを、　　宇ちゅうにひょう現する。
- 4 最しゅうの新エルサレム、　　けい示、ビジョンのしゅうたい成、
さんいちのーかみと　　三部分から成るひとは、
混ざり合い、ともに住み合って、　ふう婦としてえいえんにいたる；
かみのえいこうは、　　ひとにてあらわれる。

神の永遠のエコノミー

かみのえいえんのエコノミーはひとを、
しんかくにおいてでなく、いのち、せいしつにおいて、
かみとおなじにし、そしてかみとひとを、ひとつにして、
かれの表現において、かく大しかく張し、
神聖なぞくせいのすべてを人性の美とくを通し表現すること。